

4月はどの学年にとっても大切な時です。今のやる気を忘れずに頑張っていきましょう。

### 中学1年生のみなさんへ

中学は、小学校と違い、先生が、教科ごとに替わり、先生も生徒の一面しか見ていないので、評価は点数・提出物・授業態度など、わかりやすいものでの評価になります。提出物や持ち物が「ない」のではなく「聞いていない」にならないように気を付けましょう。

### 小学5・6年生のみなさんへ

5・6年で習うことは、国語・算数・理科・社会・英語とも、より深くなつて中学で登場します。特に、算数の「割合・百分率・速さ」の問題は、絶対理解してほしいです。これらの単元は、中学では、高校入試に必ず出題される方程式、関数で使う大切な単元です。塾の授業の復習テストで繰り返し問題演習をします。

### 小学2・3・4のみなさんへ

2年生でかけ算九九、3年生・4年生で、分数、小数のしくみを学習します。整数は、目で見て理解できることであり、普段の生活でも使うので理解しやすいですが、小数、分数は、そうはいきません。1年生から3年生まで、たし算、ひき算、かけ算、わり算を習います。これらの意味を理解することが大切です。

算数の学習の中だけでなく、普段の生活の中で保護者の方と一緒にどんどん使って、その真の意味を子供たちに教えてください。また、この時期に、学習習慣をつけることが重要です。宿題は毎日決まった時間に時間を十分取ってやらせて下さい。時間を決めないでやらせると早くやりたいがために雑になってしまいます。漢字は、書き順はもちろんのこと、トメ・ハネに注意して書かせるようにしましょう。

計算は速く正確に出来ることが重要です。

小学生も中学生も塾で毎回行っている百ます計算は、集中力と計算力を鍛えます。

### 2020年度高校入試

今年も塾生全員第一志望の公立高校に合格しました。

新中学3年生は、年度末に志望校の点数の目安となる実力テストを行いました。今の学力となる点数と志望校の合格点数をこのテストの結果といつしょにお渡しします。

これから入試までの約1年弱の目標として、頑張りましょう。入試まで1年を切りました。

### 4月予定

4月29日(木) 勘 塾の授業を行います。

5月3日(月)・4日(火)・5日(水) 勘 塾の授業はお休みします。

例年、連休明けに、中1・2は「課題テスト」中3は「実力テスト」があります。テスト範囲が発表されましたら、お持ち下さい。通常授業中にテスト対策をいたします。

各小・中学校の年間計画が出されましたら、お持ちください。

「同じ勉強をしていて差がつく理由は向なのか?」

「頭の構造が違う・血統が違う・遺伝だ」と、努力しても到底手に入らない理由を並べ、今の自分を擁護して、あきらめてしまっている子が多いしますが、それでいいのでしょうか。

もちろん、このような理由も可能性としてはあります。その可能性は非常に小さいです。

勉強方法が違う。もちろん、その可能性のほうが大きいかもしれません。しかし、塾でも同じ授業を、学校でも同じ授業を受けているのです。テスト勉強の詰めが甘いとか、テスト中の見直しの仕方が違うなど、これは考えられます。おそらく本質的問題はそんなことではあります。おもろん、このように気を付けましょう。

では、同じ授業を受けていて、差がついてしまった理由は、何なのでしょ。

「でなぜかは、勉強時間以外も学んでいる」ということです。

彼らは、つねに「学んで」いるのです。この「学ぶ」とは教科の勉強をするということではありません。ですから、表面的な授業時間で差がついているではありません。「これはどういうことか」ということを「学び」のタイプにわけてお話しします。

① 授業を受けていても学んでいない人

椅子に座って、黒板に書いてあることを書き写す「作業」を黙々と行う。そして、たまに先生の雑談が入ると「聞く耳入り」が入り、よく聞く。そしてまた授業にいるが、再び自動書記が始まると非常に多くの時間を占める授業の時間をこのように過ごしていくのです。まったく話になりません。5段階評価で、「3」以下を取る層

② 廉でいる以外、日常すべて学びの人

「れば、授業をしっかり受けて学び、やるい家で予習復習や宿題など勉強する時間はしっかりと学んでいる人をしています。一般的にこの層は、5段階評価で「5」の層です。

③ 廉でいる人が最もできる人になります。人と話すからといって、テレビを見ているときも、街を歩いているときも、感じ、考え、自分の意見を持っています。例えば、家から駅までの間を歩いている場合でも、普通は大きな変化がなければ何も気づきませんが、③のタイプの人は、非常に多くの気づきを得て、そこからいろいろなことを考えたりします。

④ 廉でいるタイプの人には、①や②のタイプの人とは得られる情報量がまったく異なります。経験から得られる知識量に雲泥の差が生まれます。このように持たると、同じ授業を受けていても差が生まれるのは、当然のこと理解できます。一般的にこの層は、5段階評価で「5」になります。

この③のタイプに近づくにはどうしたらよいのか。そのためには、「ついで楽しむ」「知る樂しませ」「書く樂しませ」を知る必要があります。

しかし、これらの「樂しませ」を知ることはそんなに簡単にはつきません。ではどうするか。それは、「人と違う意見を持つ」「人と違う意見を発言する」ということを日々から考へるようになります。

それを自分ですることが難しい場合は、保護者の方から「別の見方ない?」「別の意見ない?」などと、通常とは異なることを考へるよう誘導してあげる必要があります。その際、出てきた発言内容に対し、絶対に否定しないようにします。これらのことを続けていけば、頭の構造が変わってきます。

これらのことが習慣化されると、学力にも大きなインパクトを与えるようになります。

# 啓伸塾便り

うづき  
4月(卯月)  
April

ただ今、新春の新入塾生募集  
基礎学力を重視する学習塾